

2025プロフェッショナル人材育成プログラム

【目的】

伊賀市の“行政問題を解くプロ”を育成するプログラムです。

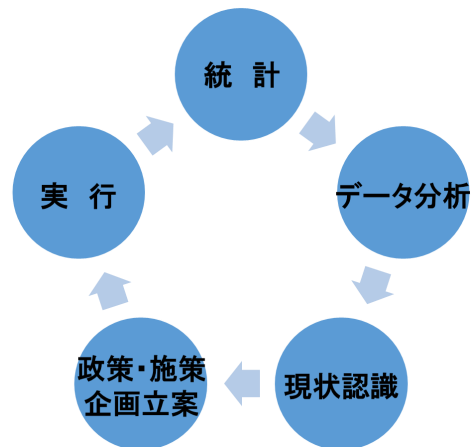
国においては、人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じるとし、そのために、「人を大事にする地域」「楽しく働き、楽しく暮らせる地域」を創ることなどを基本姿勢とした「地方創生2.0」を起動させました。

一方、本市においては、様々な行政問題に対応していくため、「人づくり」、「継承と変革」、「つながり」に焦点を当て、新たな総合計画の策定を進めています。

このような状況下においては、下図のサイクルを回し続けることが必要であり、これまで以上に情報分析、企画立案、調整能力の向上が求められています。

2023(R5)年度、伊賀市が「魅力的で、持続可能なまち」であり続けるために、施策の開発、運営、改善、改革などの取り組みを通じて市の成長戦略を具現化する人材、すなわち、“行政問題を解くプロフェッショナル”の育成を目的としたプログラムとして「伊賀創生研究会」を立ち上げました。

令和7年度の伊賀創生研究会においては、“行政問題を解くプロフェッショナル”のさらなる育成に取り組むことにより、エビデンスに基づく政策、画期的なアイデアによる政策の企画立案を通じて、総合計画を具現化する人材の確保を目指します。



【対象職員】

情報分析能力、企画立案能力、調整能力の向上をめざす全行政職

【募集人数】

最大30人

【実施期間】

6月～2月(9ヵ月)

※4月の市政運営会議で実施について報告 →5月募集予定

【講師】

河上泰之氏（Beth合同会社社長）

田中康平氏（青山学院大学非常勤講師） ※統計・データ分析

【研修の位置づけ、プログラムの概念図、スケジュール】

別紙のとおり

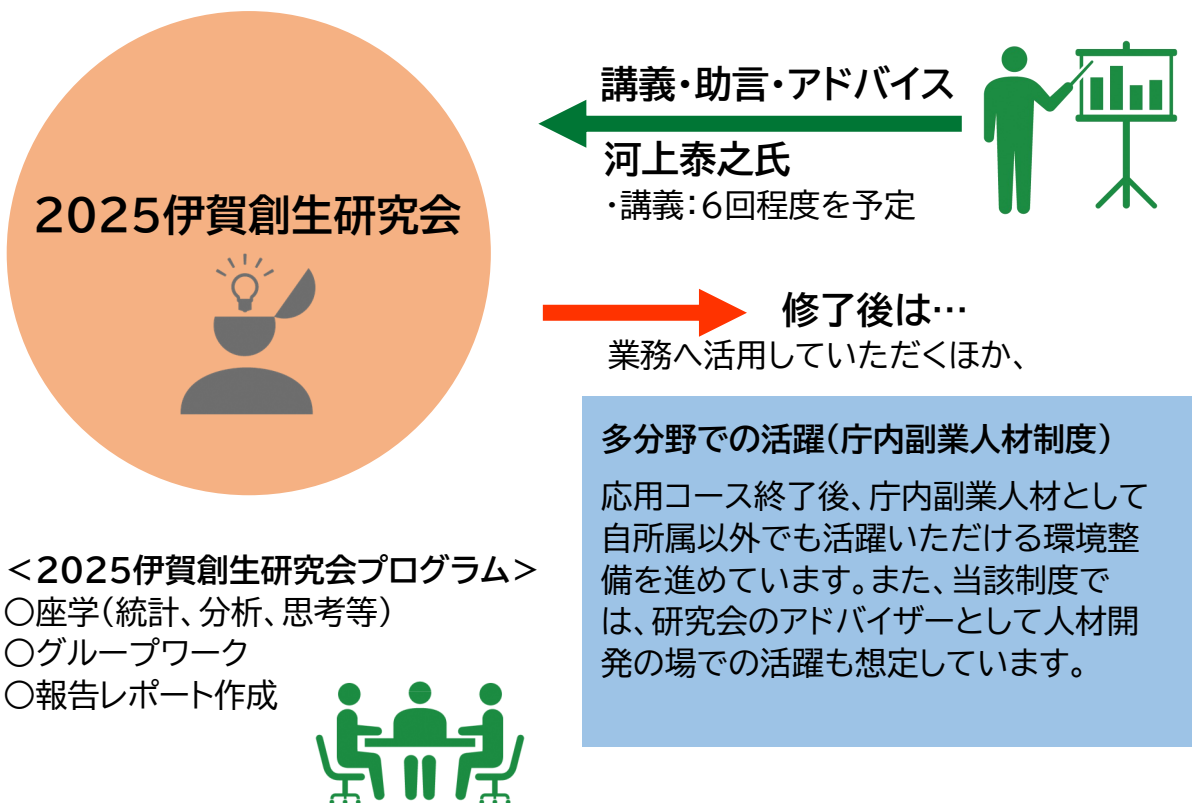
(1)研修の位置づけ

伊賀市職員研修推進計画で定める「**特別研修**」として実施する。
→職場外研修_パワーアップ研修 ※「伊賀市職員研修推進計画(P4)」

<理由>

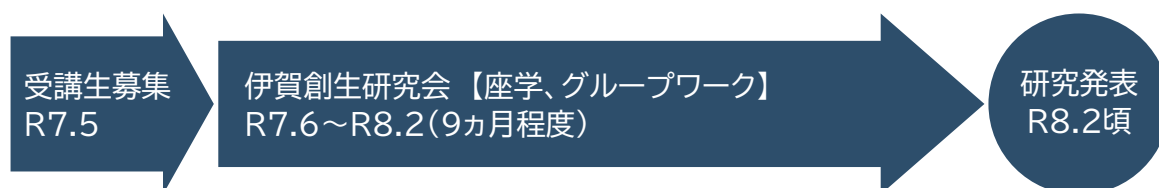
「プロフェッショナル人材育成プログラム(伊賀創生研究会)」は、個人の主体性と意欲を重視した公募制による研修であり、市政課題への対応や市政を牽引するリーダーとなるために必要となるより高度で専門的な知識・技能や先進的行政手法を習得することを目的とした「特別研修」に合致する内容である。

(2)プログラムの概念図

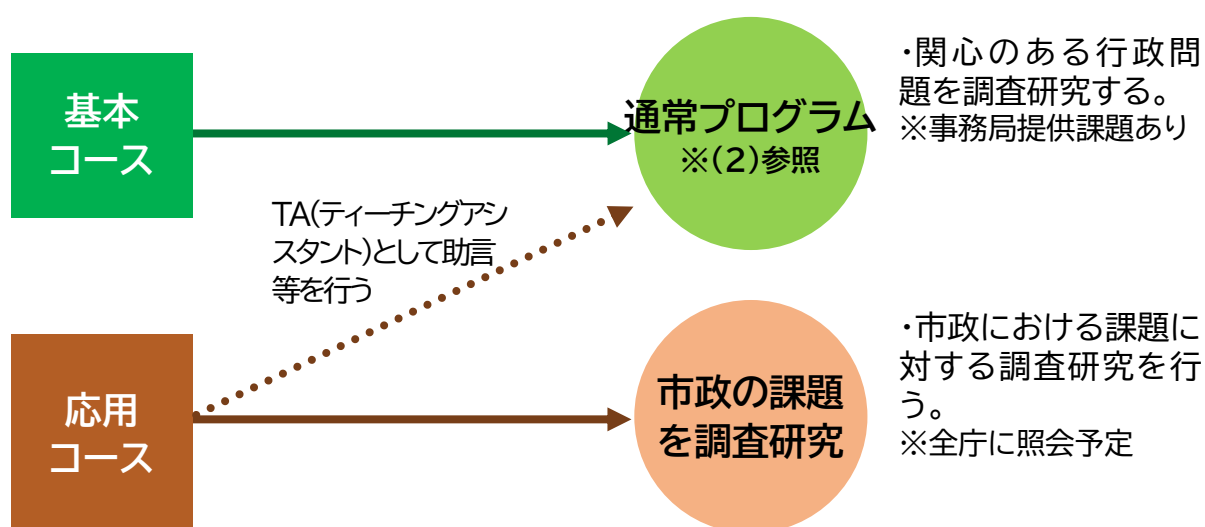


・本プログラムは、公共・人づくり推進課が事務局としてサポートします。
・修了後も、公共・人づくり推進課が関わりを継続し必要に応じてサポートします。

(3)プログラムのスケジュール



(4)受講の形態



※令和6年度までの「受講1年目コース」を「基本コース」、「受講2年目コース」を「応用コース」と名称変更しました。基本コースは受講1年目のみ選択可能です。

(5)参考資料:2024年度の実績(スケジュール)

回数	実施日	研修区分	内容	講師
第1回	R6.6.6	座学	伊賀人として考える 座学(思考)	伊賀市長 河上泰之
第2回	R6.7.22	座学	座学(統計・分析)	河上泰之 田中康平
第3回	R6.8.30	座学	座学(統計・分析)	河上泰之 田中康平
第4回	R6.9.25	ワーク	個別研究	(自主学習)
第5回	R6.10.15	ワーク	研究会内中間発表	河上泰之
第6回	R6.11.18	ワーク	個別研究	(自主学習)
第7回	R6.12.23	ワーク	個別研究	(自主学習)
第8回	R7.1.20	ワーク	個別研究	河上泰之
第9回	R7.2.17	ワーク	個別研究	(自主学習)
第10回	R7.2.17	発表会	研究発表(審査)	河上泰之

(6)参考資料①:2024年度の受講生、研究タイトル

	所属	名前	研究タイトル
1	健康福祉部 生活支援課	猪口陽平	伊賀市におけるDX推進の課題:組織構造がもたらす障壁
2	企画振興部 地域創生課	上田遼太	ふるさと納税制度における寄附金額増加のための仕組みづくりについて
3	企画振興部 文化振興課 美術博物館建設 準備室	杉永剛志	芭蕉さんの功績から紐解く伊賀市に適した文化振興施策
4	デジタル自治推進局	大山隆徳 (2年目)	持続可能な自治体経営に必要な「投資」とその影響
5	企画振興部 総合政策課	奥沢浩和 (2年目)	2つのしくみ(庁内人材活用20%ルール、自治体シンクタンク)を使いこなすため、その準備として何をすべきか。

(6)参考資料①:2023年度の受講生、研究タイトル

	所属	名前	研究タイトル
1	デジタル自治推進局	大山隆徳	モノが集まる都市としての可能性について
2	企画振興部 総合政策課	奥沢浩和	戦後の伊賀地域で大幅な人口増が起こらなかった要因の分析について
3	総務部 人事課	杉浦直樹	「夏休み」から考える行政の見直し視点
4	上下水道部 下水道課	谷垣寿春	中心市街地学生街化
5	建設部 企業用地整備課	中林徹也	企業誘致は自治体に何をもたらすのか。
6	財務部 資産経営課	濱田真司	施策の“ターゲット”を絞る ～30年後の伊賀市のために～
7	産業振興部 商工労働課	藤田文香	自分のような者が伊賀市で満足して過ごすには
8	防災危機対策局	前川浩也	伊賀市の住民自治と市の支援
9	財務部 収税課	森地孝充	伊賀流移民受入政策の是非を検証する ～不易流行～
10	健康福祉部 保険年金課	大北佳澄	サテライトオフィスの開設誘致と雇用の創出
	上下水道部 経営企画課	田口大介	
11	地域連携部 上野支所	本城 覚	忍者の里 伊賀で自己実現 移住×農的ライフスタイルの提案
	健康福祉部 医療福祉政策課	山崎晴菜	
	建設部 建築課	山崎泰則	